

令和4年第1回恵那市議会定例会施政方針

本日、ここに令和4年第1回恵那市議会定例会を招集いたしましたところ、議員の皆様には、御多用中にもかかわらず御出席を賜りまして、誠にありがとうございます。令和3年10月から進めてまいりました議場の改修工事が完成いたしました。本定例会から、新たな議場で開催するにあたりましては、議員の皆様の御協力をいただき、誠にありがとうございました。

令和4年度の当初予算案をはじめとする関係議案の御審議をお願いするにあたり、市政運営の基本政策及び予算編成方針並びに主要施策について御説明申し上げ、議員並びに市民の皆様の御理解と御協力を賜りたく存じます。

はじめに、新型コロナウイルス感染症は1月以降急拡大し、岐阜県は1月21日から3月6日まで、「まん延防止等重点措置区域」に指定されております。今回の第6波では、10代以下の子供たちへの感染も広がり、児童や生徒、その家族の生活にも影響が出ております。市としましては、安心安全な学びの場を確保してまいります。

令和4年度は、引き続き、3回目のワクチン接種や感染防止対策、市内事業者の支援などに取り組むとともに、できる限りの対策を講じてまいります。

(令和4年度市政運営に当たっての基本政策)

それでは、市政運営の基本政策について申し上げます。令和4年度は、「第2次総合計画後期基本計画」の2年目を迎えます。コロナ後を見据えた新たな事業を加え、今まで以上に住み続けられる恵那市づくりを、引き続き「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」の4本の柱で取り組んでまいります。

はじめに「はたらく」につきましては、働く場を創出するため、令和3年12月に安全祈願祭が行われました恵那西工業団地の開発を進めるとともに、本社機能やデータセンターを含めた企業誘致に取り組んでまいります。

市内事業者の経営力向上を図るため、業務のデジタル化やビジネスマッチング、オンライン販売を活用した販路開拓などの事業を支援するとともに、アフターコロナに対応した新たな取組を支援してまいります。また、飲食店などのメニューや商品を「えな地域ブランド商品」として認定し、付加価値を付けることで来店者の増加や販売拡大を促す取組を行ってまいります。

「たべる」につきましては、食を通じた健康づくりと食育を推進するため、新たに発酵食品の魅力を伝える発酵ソムリエの育成に取り組むとともに、親子で食材の選び方などの基本から学ぶスタートアップ料理教室を開催してまいります。また、恵那の味を伝承するため、年中行事で食べられてきた伝統食のレシピ本としてストーリーブックを作成し、市内の食文化や食材を紹介してまいります。

食料自給圏の構築や食料自給率の向上を図るため、中野方町のモデル地区において市場調査などにより選定した作物を栽培し、市内での地産地消に取り組むとともに

に、AIなどの先端技術を活用した農業機械の導入を支援し、農業所得の向上や担い手の確保につなげてまいります。

また、恵那市学校給食センターにて整備を進めてまいりましたアレルギー対応給食の調理室が1月に完成し、4月から順次、対応給食の提供をスタートいたします。

「くらす」につきましては、安心して子供を産み、育てられるよう、多方面から子育て世帯を応援するため、子育て総合支援の拡充として、1つは、子供の医療費助成の対象を18歳までへの引上げ、2つ目は、学童保育などの第3子以降のサービス利用料の免除、その他、訪問型の産後ケアの充実や産婦健康診査費の助成、育児休業中のこども園の継続利用などを行ってまいります。加えて、子育て世代を中心に多世代が交流できる場所を提供するため、中央公園のリニューアルを行い、遊具や駐車場などを整備してまいります。

公共交通については、交通弱者や来訪者が移動しやすい環境を整えるため、恵那駅周辺のまちなか循環線を6月から2路線運行するとともに、交通コンシェルジュを設置し、利便性の向上を図ってまいります。

地球温暖化対策や林業振興を推進するため、住宅用太陽光発電システムや蓄電池システムなどの設置を支援するとともに、市産材を活用した省エネ住宅の建設を支援し、「脱炭素社会えな」の実現を目指してまいります。

「まなぶ」につきましては、変化している教育環境や少子化に対応するため、教育環境検討委員会を設置し、恵那南地区の中学校再編を含めて、これからの方向性を検討してまいります。

ICTを活用した授業をより効果的なものとするため、タブレットや学習アプリの積極的な活用に加え、バーチャル・リアリティを活用した学びに取り組むとともに、より良いオンライン授業の環境を整備し、引き続きGIGAスクール構想を推進してまいります。

旧岩村振興事務所を活用して、ふるさとの先人の顕彰拠点施設を整備するため、地域との協議や概略設計を進め、生涯学習都市「三学のまち恵那」を推進してまいります。

生涯スポーツの普及や競技力の向上を図るため、笠置峡ボートカヌー場を拠点としたアクアスポーツの推進やオリンピックなどの指導により、スポーツ振興に取り組んでまいります。

(令和4年度予算編成方針)

続きまして、令和4年度の予算編成方針及び予算総額について、御説明申し上げます。

政府は、新型コロナウイルス感染症への対応に万全を期すとともに、成長と分配の好循環による新しい資本主義の実現に向け、総額107兆5,964億円の令和4年度一般会計予算案を閣議決定いたしました。その中で、地方自治体の安定的な財政運営に必要となる地方交付税交付金は、18兆538億円と前年度比較6,153億円増加し、交付団体ベースの一般財源総額については、62兆135億円と

前年度を203億円上回る額を確保する措置が講じられております。こうした中、本市の令和4年度予算は、長引く新型コロナウイルス感染症の影響による新たな課題に対応するとともに、第2次総合計画後期基本計画の2年目に当たり、計画を着実に実施するための予算を確保し、地球温暖化対策を含めたSDGsの取組に加え、子育て環境の充実やリニア開通に向けたインフラ整備など、市民の誰もが住み慣れた地域で、年齢や性別に関わりなく元気に働き続け、安心して住み続けることができるまちを目指した予算を編成いたしました。

(令和4年度予算総額)

令和4年度の予算額について御説明申し上げます。

一般会計の歳入では、市税は、法人数の増加による法人市民税の増額や軽減措置の廃止に伴う固定資産税の増額などにより、前年度比1.4%増の9,300万円の増収を見込んでおります。地方譲与税及び諸交付金は、財源となる税収の伸びにより、2億5,240万円の増収を、地方特例交付金は、新型コロナウイルス感染症対策に係る固定資産税減免などの廃止により、減収補てんが無くなるため、7,610万円の減収を見込んでおります。また、普通交付税及び臨時財政対策債は、地方交付税総額の増額などにより、5億円の増収を見込んでおります。

歳出では、医療費助成の対象年齢引き上げを含めた子育て総合支援の拡大や「創エネ・畜エネ・えなの木省エネ住宅」の推進事業、自主運行バスまちなか循環線の運行事業、中央公園再整備事業、WRC開催事業、リニア工事に伴う基盤整備などに予算計上し、全体では、前年度比1.0%、2億7,000万円増の263億円の予算といたしました。

特別会計では、国民健康保険事業特別会計は、前年度比1.0%、5,450万円増の53億6,080万円、介護保険事業特別会計は、介護給付費の伸びにより、4.4%、2億6,610万円増の62億6,340万円とし、全体では3.1%、3億6,880万円増の124億2,500万円の予算といたしました。

企業会計では、水道事業会計の資本的支出が浄水施設や配水施設の建設工事などにより16.3%、1億9,830万円の増、下水道事業会計の資本的支出が処理場の改良や更新工事などにより、前年度比36.4%、2億9,650万円の増など、全体では、1.1%、9,770万円増の93億6,540万円といたしました。

<令和4年度の予算総額>

○一般会計	…	263 億円	(前年度比 2 億 7,000 万円)
○特別会計	…	124 億 2,500 万円	(前年度比 3 億 6,880 万円)
○企業会計	…	93 億 6,540 万円	(前年度比 9,770 万円)
合 計		480 億 9,040 万円	(前年度比 7 億 3,650 万円)

(令和4年度の主要施策)

それでは、令和4年度の主要な施策及び事業について、第2次総合計画後期基本計画の7つの基本目標に沿って説明させていただきます。

(1. 安心して暮らす)

基本目標の第1は、「安心して暮らす」です。

介護老人保健施設ひまわりの入所定員を4名増員するとともに、山岡デイサービスセンターゆとりや山岡ショートステイほのぼの荘の施設環境を改善するため、大規模改修工事を実施し、高齢者福祉施設の快適な入所環境を確保してまいります。

園児が安心して清潔なトイレを使用できるよう、こども園8園のトイレの洋式化工事を実施し、教育・保育施設の環境を改善してまいります。

生ごみを良質な堆肥として資源化するため、調査・研究を行い、持続可能なまちづくりに取り組んでまいります。

(2. 生命と財産を守る)

基本目標の第2は、「生命と財産を守る」です。

安心安全な医療を提供するため、飯地町と山岡町の国民健康保険診療所の大規模改修工事を実施し、医療施設の環境を改善してまいります。

防災体制を強化するため、見直し後の防災マニュアルと土砂災害ハザードマップを6月には全戸へ配布するとともに、市内の河川5か所へ水位監視カメラを設置し、防災意識の向上を図ってまいります。また、市北部6振興事務所へ公用車を配備し、迅速な現場対応を行ってまいります。加えて、宅地への土砂災害に伴う土砂の撤去を支援し、被災者の生活の早期安定を図ってまいります。

消防体制の充実を図るため、笠置町と中野方町のコミュニティ消防センターの改修や大井分団の小型動力ポンプと積載車を更新し、消防団活動を支援するとともに、日本大正村の重要建築物などを火災から守るため、明智振興事務所駐車場へ100トンの耐震性防火水槽を設置してまいります。

(3. まちの魅力を高める)

基本目標の第3は、「まちの魅力を高める」です。

交流人口の拡大を図るため、国史跡正家廃寺跡の保存管理や岩村城跡の登城路の整備、明治天皇大井行在所の駐車場を兼ねた多目的広場の整備を行い、文化財の保護と活用に取り組んでまいります。

SDGsの取組を進めるため、講演会や普及啓発活動を行い、持続可能なまちづくりについての意識の醸成を促してまいります。

坂の上交差点の渋滞解消や市内アクセスの向上を図るため、長島小学校付近の都市計画道路羽根平学頭線の改良に向けた概略設計に着手してまいります。

(4. 便利に暮らす)

基本目標の第4は、「便利に暮らす」です。

デジタルの力を借りて、公共施設の予約や予約状況の確認を可能にするため、オンライン予約の導入に向けた準備を進めるとともに、スマートフォンやアプリなどの操作方法が学べる講座を開催し、オンラインによる手続やサービスの利用促進を図ってまいります。

移動支援を推進するため、自主運行バスの路線再編に併せて車両を購入するとともに、引き続き高齢者の公共交通利用支援を行ってまいります。

(5. いきいきと暮らす)

基本目標の第5は、「いきいきと暮らす」です。

若者の市内への定住を促すとともに、若者ならではの感性による本市の活性化を図るため、地元企業との連携や遠隔地の大学との実証実験などを進め、市外では得られない学びや交流ができる新しい場の創出に取り組んでまいります。

ふるさとの先人を顕彰し、「まちづくり、ひとづくり、心そだて」に生かすため、11月に嚶鳴フォーラム in 恵那2022を開催し、本市を全国にPRするとともに、先人の知恵や経験からまちづくりを学び、実践してまいります。

地域のにぎわいや交流を創出するため、国道19号瑞浪恵那道路の整備に併せて、武並町へ設置を予定している「道の駅」の基本計画を策定するとともに、恵那峡サービスエリアに設置を目指すスマート・インターチェンジを活用した大井町東地区の土地利用に係る基本調査を実施してまいります。

避難所でもある小中学校の施設環境を改善するため、中学校7校のトイレを洋式化するとともに、引き続き三郷小学校の大規模改修工事を進めてまいります。

(6. まちを元気にする)

基本目標の第6は、「まちを元気にする」です。

アフターコロナを見据え、電子版を含むプレミアム付商品券の発行により、域内消費の拡大やキャッシュレス決済の導入促進に取り組んでまいります。

リニア時代の観光誘客や地域活性化を図るため、全国山城サミット恵那大会の開催や、インバウンドの回復を見据えた台湾プロモーション、アウトドアレジャーの推進に向けた根の上アウトドアパーク恵那「ホコグランピング」の開設やサイクルツーリズムの普及促進などに取り組み、本市の新たな魅力を発信してまいります。加えて、世界でおよそ年間延べ現地観戦者が400万人、テレビ観戦者が8億4千万人と言われているWRC世界ラリー選手権の誘致により、本市の魅力を世界中へ発信する取組を進めてまいります。

リニア岐阜県駅と本市を結ぶ東濃東部都市間連絡道路の実現に向け、調査設計を進めるとともに、大井町岡瀬沢地区や野尻野畑地区、武並町藤地区のリニア沿線のまちづくりや生活環境を守るため、道路の調査設計を行うなど、リニア時代の基盤整備を着実に進めてまいります。

(7. みんなでまちをつくる)

基本目標の第7は、「みんなでまちをつくる」です。

恵那中央出張所「えなえーる」を活用して、子育て世代を対象とした交流会や相談会を開催するなど、市民サービスの向上に取り組んでまいります。

ふるさと納税を活用して、地域の「がんばるまちづくり活動」や移住定住の取組を支援し、地域と共にいつまでも安心して住み続けられるまちづくりを推進してまいります。また、新たに企業版ふるさと納税を活用して、市のプロジェクト事業の実現に取り組んでまいります。

地域のコミュニティ拠点の環境改善を行うため、飯地コミュニティセンターの大規模改修工事を実施してまいります。

以上、令和4年度の市政運営における所信の一端を申し上げます。特に「はたらく」「たべる」「くらす」「まなぶ」に重点を置き、新しい恵那市の実現を目指してまいります。議員並びに市民の皆様のご理解と御協力をお願い申し上げます。

(令和4年第1回恵那市議会定例会提案説明要旨)

次に、議案の提案理由について概要を説明させていただきます。

本定例会に提出した議案は、合計25件です。

議第1号から議第8号までは、条例の一部改正について、議第9号から議第15号までは、令和3年度恵那市一般会計及び特別会計並びに企業会計の補正予算であり、一般会計補正予算では、全体で5億6,606万3千円の増額補正を行い、一般会計の歳入歳出総額を324億9,802万1千円とし、特別会計補正予算では、全体で9,194万2千円の増額補正を行い、特別会計全体の歳入歳出総額を122億25万9千円とするものです。企業会計では、全体で9,470万2千円の増額補正を行い、企業会計支出総額を93億8,530万円とするものです。

議第16号から議第25号までは、主要施策に基づく令和4年度恵那市一般会計及び特別会計並びに企業会計に係る予算について議決をお願いするものです。

以上で提出議案の説明を終わります。なお、詳細につきましては、担当部長などから説明をさせますのでよろしく御審議の上、適切な議決を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年2月24日

恵那市長 小坂 喬峰